R7年度　アクションプラン実現（デザイン監修・社会実験）の流れ(案)

資料６

令和5年度

人吉まちなかグランドデザイン推進方針（R6.3）

球磨川・人吉地区かわまちづくり計画（R6.4）

令和6年度

行政　まちの人 事業者　専門家

アイディア集約

アクションプラン素案とりまとめ（R6.11）

合同意見交会(R6.12)　担い手ワークショップ(R7.1・2)

まちづくり協議会(R7.2)　出張窓口(R7.2)

反映

アクションプラン策定（R7.3）

次年度社会実験内容・主体・検証項目の方向性

まちなかフォーラムにて共有（R7.3）

うぐいす　駅前(照明)

令和7年度

検証項目の設定（利用ニーズ、設え、交通影響、安全性、運営体制、収益性、地域合意など）

～アクションプランのシーンをできるだけ多く実現、共通体験し、将来プランに反映する～

10エリアテーマ

空間・照明・交通等（行政・専門家検討）

下記のデザイン
- 新たな人の動線、船のルート
- シンボルとなる場所
- 人のための滞留空間
- 交通規制
- 夜間照明
- モビリティ、駐車場

15 TF　会議90回

行政　専門家

検証内容・企画の調整

59企画

青井：道路・照明設計　無電柱化設計　西部公園プラン

中川原公園・大橋・胸川：照明配管設計　護岸工事(国)

うぐいす周辺：事業スキーム検討

鍛冶屋町：道路舗装検討

区画整理山田川：道路・公園検討

城見：デッキの設計条件

駅前：エリアコンセプト　ゾーニング・駐車場　南北動線等

城跡：階段・散策路・照明検討　活用方針検討

景観形成：景観ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ(青井)　サイン検討

夜間景観：設計支援　社会実験445号等

情報発信：ｵﾌｨｼｬﾙｻｲﾄ・SNS等　熊本人吉まちの編集室

公民連携：公民連携基本計画(5エリア)

空間・照明・交通等検討

担い手の参画（昨年度の継続、新規）

企画・準備　各担い手の

社会実験実行委員会（担い手合同会議）

第１回：6月23日
第２回：8月4日
第３回：9月24日(決起集会)
第４回：11月25日(実験終了)
第５回：2月24日(結果共有)

延べ96名

民間担い手

地域

各エリア実施への合意形成

全体企画調整
企画支援
什器・照明
各種許認可
現場設営
交通規制
ｱﾝｹｰﾄ作成
広報

社会実験(現場での検証)：検証結果＆次年度以降方針

◆ 常設化、ハード設計に反映　◇ 社会実験にて残課題検証

- 青井 ◆：参道軸線のデザイン効果大　神社周辺ホコ天の地域合意　→軸線設計・交通へ反映
- 中川原公園 ◆◇：活用ニーズ大・駐車場適正　増水時対応要改善・日影必須　→残課題の社会実験　照明計画へ反映
- 大橋 ◇：場所価値大・交通規制負担大　周辺交通影響少　→担い手発掘・簡易活用検討
- 球磨川テラス(右岸) ◇：活用実施／運営者の改善意向あり、自転車交通の課題　→再度改善の社会実験
- 球磨川テラス(左岸) ◆：活用実施／地域・利用者・運営者の常設意向あり　→常設化へ移行、制度導入
- 城見 ◆◇：地域・利用者常設意向あり　→デッキ設計　→カヌー部＆地域清掃継続
- 城跡 ◆◇：石垣周辺動線の有効性確認　→階段・飛び石等常設検討　→保存活用計画と並行してｿﾞｰﾆﾝｸﾞ＆交通社会実験
- サードプレイス ◆：好評・ニーズ大　建物オーナーの協力確認　→常設化、運営体制構築
- 鍛冶屋町 ◇：妖漫画館　地域による運営体制　→継続運営
- 球磨川アクティビティ ◇：事故時のリスク課題有　川遊び安全教室のニーズ有　→安全教室の継続実施体制
- 夜間景観 ◆：各エリアで実施　→設計へ反映　→城上樹木照明常設化
- 交通モビリティ ◇：駅前・城跡の代替Ｐは必須　シェアサイクルは公民検討　→Ｐ確保、SC事業化検討
- 流域 ◆◇：流域資源とまちづくりの一体化が個性　→新たな流域活動実施
- ランドバンク ◇　うぐいす　駅前：今年度未実施　継続検討

民間自主事業　民間自主事業　民間自主事業　民間自主事業　民間自主事業　民間自主事業　民間自主事業　民間自主事業

社会実験支援チーム／デザイン会議

- 来場者アンケート　1,726件
- 地域アンケート　135件
- 主催者ヒアリング　26名
- 通行量・プレイス調査　延べ24回　延べ31回
- 野点会・ヒトヨシクマラボ（地域・利用者インタビュー）　12名　17名

データ集計・分析　仮説設定

まちなかフォーラム3月15日　まとめ・広報

社会実験の検証結果

検討・検証結果を
①ハード設計や運営方法へ反映 ②民間自主事業の次の展開へ ③公民連携事業の検討へ

次年度以降の事業内容に活かす